

会 議 録 (要 旨)

会議の名称	第1回戸田市立美笹中学校建替基本計画検討委員会
開催日時	令和6年7月2日(木) 午後6時00分～午後7時30分
開催場所	戸田市立美笹中学校 2階会議室
出席者	<p>【委員】 教育部長 教育委員会事務局参事兼次長 教育委員会事務局次長兼教育政策室長 学務課長 教育総務課長 資産マネジメント推進室長 戸田市立美笹中学校校長 戸田市立美笹中学校教頭(2名) 笹目7丁目会長 戸田市立笹目小学校長 戸田市立美笹中学校学校運営協議会会長 戸田市立美笹中学校学校運営協議会委員(6名)</p>
欠席者	<p>【委員】 戸田市立美笹中学校学校運営協議会委員(2名) 戸田市立美笹中学校学校生徒会会長 戸田市立美笹中学校学校生徒会副会長(2名)</p>
事務局	教育総務課、株式会社桂設計
議 事	<p>(1) 美笹中学校建替え基本計画の概要について (2) その他</p>
会議の経過	別紙のとおり

(会議の経過)

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>■開会</p> <p>■挨拶 ・(教育部長より挨拶)</p> <p>■委員紹介</p> <p>■委員長、副委員長選出 ・石川委員を委員長、川和田委員を副委員長に選出</p> <p>■議事 (1) 美笹中学校建替え基本計画の概要について</p> <p>・(事務局より説明)</p> <p>委 員 長 ・ここからは委員にどのような学校にしていきたいか意見を聞かせていただきたい。</p> <p>委 員 ・通っている生徒が、安全に授業を受けられる環境を整えて欲しい。また、資料の説明の中で生徒数推移グラフが緩やかに今後も減少する傾向になっているが、この見込みの根拠は何に基づいてグラフを作成しているのか。美笹中学校は来年度から制服が変わるため、もしかしたら入学する生徒が増えるのではないかと考えている。その中でも、減少傾向と見込んでいる考えを教えていただきたい。</p> <p>事 務 局 ・減少傾向の見込みに関しては、住民基本台帳から美笹中学校の学区内となる笹目小学校、美谷本小学校と美女木小学校の一部の児童数を集計して算定した。学区選択制の中での増える分は見込んでいない。もしかしたら、今後微増になるかもしれないが今の推定としては、現在の住民基本台帳から小学校の人数に基づいて減少傾向としている。</p> <p>委 員 ・生徒数が増減するとなると、教室が足りたり、足りなかったりすると思われる。新校舎は不足がないようにしていきたい。</p> <p>委 員 ・防災対策について、美笹中学校の備蓄倉庫は1階にあるか、3階以上にあるか、どこに設置しているか。</p> <p>委 員 ・屋外プールの脇の地上にある。</p>

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・荒川が氾濫すると4mくらい浸水してしまい、1階・2階では水に浸ってしまう。出来れば3階以上に設置して欲しい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・美女木六丁目町会は、美笹中学校が災害時の避難所になっているが、町会住民に十分に浸透しておらず、美谷本小学校が避難所だと認識している人が多数いる。そのため、美笹中学校が災害時の避難所であることが分かりやすい施設として欲しい。 また、昨年美笹中学校の防災倉庫を見学したが、荒川氾濫が起きた時に校庭の中でも地盤が低い位置にあるため、開くことが難しく、防災倉庫までたどり着けない可能性が高い。何かあった時にきちんと使えるように備えて欲しい。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・町会地域の方々は、特に防災拠点の機能をしっかり持たせたいことを認識した。学校運営協議会の方々はどうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちの話を聞いていると大人と考えていることが結構違うため、先に子供たちの意見を聞いてから、大人の意見を取り入れたほうがよいと考える。子供たちからは、きれいなトイレや、高校や大学などの廊下にあるちょっとした勉強、休憩できるスペースに憧れるという声をよく聞く。 防犯面は気になるが、教室や職員室に扉がない学校も見たこともあり、先生とコミュニケーションがしやすくなると考えるため、取り入れてみてはどうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・西部福祉センターは高齢者が多いので、工事車両の通行を配慮して欲しい。また、美笹中の生徒が毎日学校帰りに、勉強や遊びで利用していてスペースが不足するタイミングがある。そういう居場所となるフリースペースのようなものを学校にも作って欲しい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校の生徒についても居場所づくりができると良い。また、彩湖に近い学校なので、水害に強い学校にできるとよい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・現在学校での学び方が大きく変わってきている時期である。以前は、教師が子供達に教える受動的な学習であった。そのため、教室の大きさもそれを想定して作られていると考える。今の学び方は、子供たちが自分で考える時間を多くし、主体的に取り組むようになっている。中学校の生徒は身体も大きくなり、自由な学び方をさせるために机を動かすこともあると思うので、今の教室の大きさは厳しいのではないか。ロッカーを廊下に設置するなど、なるべく広くとるほうがよいのではないか。 また、ちょっとした活動ができるスペースを廊下に設けることで、そこで勉強や友達と会話、先生とコミュニケーションができる場が中学校にあってもよいのかと思う。更に、小学校には、不登校対策として「ばれっとルーム」という教室があり、中学校にもそのような部屋があった方がよいと考える。

委員 長	<ul style="list-style-type: none"> ・美笹中学校には不登校の生徒を対応する部屋はあるのか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・さわやか相談室がその役割を担っている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・国道17号バイパスから西側の美女木地区が人口減少している。一般的な横に長い校舎ではなく、何か変わったデザインの校舎にして、目立つようにして欲しい。現在、町会に人が少ないため、1つの町会だけでは行事ができなくなっている。美笹中学校エリアに人口が増えるようなデザインにしていきたい。
委員 長	<ul style="list-style-type: none"> ・渋谷区の学校の建替えデザインが、スタジアムのように格好が良い。予算との兼ね合いもあると思うが、地域にとって魅力的な学校のデザインとして欲しい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・次回以降、今回の委員の意見や生徒からの意見を踏まえて、建替え計画の柱を作っていく具体化していくという作業をすることになると思うが、そのためのキーワードがあると、今後の考えが広がっていくのではないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・開放感のある教室にして欲しい。現在1年生で1クラス40人のクラスがあるが、授業参観は保護者が教室に入れなく、とても窮屈である。中学生になり、身体も成長し、教科書のサイズも大きく、タブレットも使用する。机のサイズも昭和から変わっていない。今後100年を見通したときに規格というのも変わってくると考えるため、1教室のサイズが決まっているのであれば、可変して廊下が使えるようになることなど、ゆったり学べる環境ができればよいと考える。 <p>また、美笹中学校では現在NIE（※）に力を入れているが、今後も続けていくかは分からない。それに縛られるのではなく、廊下を広くしフリースペースを設けるなど、総合的な活動ができるような校舎であれば、新しい学びに繋がるのではないかと考える。</p> <p>※NIE (Newspaper in Education) は、新聞を教材として活用する学習</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯に関して、理想ではあるが職員玄関は外部から上がって2階にあるほうがよいのではないか。現在は、職員室から来校者が見づらいため、防犯面に不安がある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な学びができる学校づくりをしたい。教室に限らずに、多目的なスペースを作るとよいのではないか。また、現在トイレも狭いため、トイレを広くすると生徒も過ごしやすいのではないかと考える。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会にオープンな学校にしていきたい。美笹中は、不審者事件があったため、難しいとは思いますが、地域に溶け込み、地域と一緒にいるような学校にしていきたい。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの学校は地域に開かれた学校を目指してきたが、事件があったことを踏まえ、物理的には防御をする必要がある。一方で、学校は地域の方々が子供たちを見守っていくような環境を作るべきだと考えており、ハードな部分では閉じるが、ソフト面では地域に開いていくことが重要と考える。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・キーワードについては、実際に校舎を利用している生徒のアンケート結果を踏まえて考えていきたい。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート内容は生徒が考えたのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・基本計画の概要を伝え、学校の先生に協力してもらいながら生徒会が主体となって作成した。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・教室が生徒の増減に対応できるような配置や数にして欲しい。美笹地区は、水と緑が豊かなため、緑をキーワードにするのはどうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・外部からの動線を考え、職員室からの視認性を良くすることで、地域の人々が自由に出入りでき、開かれた学校にして欲しい。また、教室をカーテンなどで仕切り、教室を可変できたりするのもよいと考える。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・美笹地域のコミュニティの中心となり、生徒が自分たちで作った中学校と言えるような中学校を作って欲しい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々が見守りながら、安全に運営できる学校にして欲しい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・防災や防犯の面から校庭を2階にあげたらどうか。1階は、西部福祉センターなどの地域のコミュニティ施設を入れるなど、斬新なアイデアがあってもよいと考える。また、小中一貫、中高一貫校の考え方などもある。一方、少子化問題や高齢化問題もあり、100年後には廃校になるかもしれないため、高齢者施設に変えられるようにするなどの対応ができる施設も考えられる。 現在の防犯面では、校門の警備員が17時に帰ってしまい、そこから18時までの部活の時間は誰でも入れてしまうのはよくないと感じる。 また、地域のシンボリックな建物にして欲しい。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・美笹中学校を建て替えるとなった時に、西部福祉センターも古いため一緒に建て替える話があったが、現状の方針はどうなっているのか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・美笹中学校を建て替えにあたって、西部福祉センターの複合化を検討していたが、昨年度に改めて地域にアンケートを実施した結果、学校に不特定多数の人が入っ

<p>委員 長</p>	<p>てくることに9割の人が不安を感じている。その経緯があり、単独で建て替えることとなった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不審者事件があったことから防犯対策は1番のキーワードではないかと考える。先生たちが、楽に見守れるように防犯カメラの設置や集中管理システムを設けて、運用ができればよいのではないかと考える。 また、少人数で集まれるスペースや100人くらい利用できる戸田東小学校のようなメディアルームがあると、学年単位で集まれるスペースとなり、学びの場としてよい。 最後にジェンダーフリーの配慮も重要である。身近な話となる問題なので、多目的トイレの設置などを考えた方がよいと考える。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯カメラなどは、AIなど活用した先進的な防犯技術を取り入れるのがよい。 また、脱炭素の取り組みについては、温室効果ガスの排出だけでなく、吸収することについても学びの場として取り入れた方がよいと考える。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェンダーフリーの話が出たが、多様な子供たちを受け入れられ、みんなに優しい学校だとよいと考える。
<p>委員 長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、学校選択制において美笹中学校区の児童が笹目中学校を選択する傾向があるため、今回の建て替えを機に、美笹中学校の良さを地域に発信できればよいと考える。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの話を踏まえて設計者の観点から総括を伺う。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪池田小学校の事件から学校設計において、防犯計画は最優先事項となった。現在の美笹中学校は、玄関にセキュリティをかけているが、都心部では敷地が狭いこともあり、正門にセキュリティをかけるケースもある。セキュリティラインをどこに置くかを設計段階で重要事項として考えている。そのセキュリティラインの形によっては、あるところまでは地域に開いて、その先は閉じるなどの調整が可能であり、今後の検討していく必要がある。 また、文科省から新しい学びの空間づくりが2022年に発表され、学び方がとても変わってきており、それに柔軟に対応できるような学校作りが重要とされている。学校は生活の場でもあるため、生き生きとした空間作りができるように心掛ける必要がある。そして、どこにでもある学校を設計するのではなく、美笹中学校ならではの設計していくために、検討委員会での地域性や特徴などの意見出しの協力をお願いする。
<p>事務局</p>	<p>(2) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何か意見があれば教育総務課までメール又は電話にて連絡をいただきたい。

- ・生徒会から検討委員長へのアンケート報告は7/25（木）の9時半を予定。
- ・第2回検討委員会は8/29（木）の17時半からとする。

■閉会